

V 第1回班会議プログラム

厚生労働科学研究（難治性疾患克服研究事業）
ヘーチェット病に関する調査研究
平成 15 年度第 1 回研究班会議

日時 平成 15 年 7 月 18 日（金） 14 00～
7 月 19 日（土） 9 00～
場所 福島県立医科大学同窓会館
「光が丘会館」大会議室

7 月 18 日（金曜日）

14 00

主任研究者挨拶

福島県立医科大学医学部皮膚科教授 金子 史男
厚生労働省健康局疾病対策課課長 御挨拶

座長 金子 史男

14 10

「酵母マンナンに対するヘーチェット病患者血清の反応性と診断への応用」

磯貝恵美子（北海道医療大）、松尾幸毅（産業技術総合研究所）、磯貝 浩（札幌医大）、南場
研一、大神一浩、大野重昭（北大視覚器病学）、小能恵二（岡山大病原細菌学）、東條理子、金
子史男（福島県立医大皮膚科）

14 25

「ヘーチェット病における抗菌蛋白質 granulysin の関与についての研究」

山崎 修、森實 真、瀬津名美子、大野貴司、岩月啓氏（岡山大皮膚粘膜結合織学）、林 松
男、横田憲治、小能恵二（同病原細菌学）

14 40

「ヘーチェット病における連鎖球菌 HSP60 由来のペプチドに関する研究」

柳堀浩克、井上智子、東條理子、中村晃一郎、金子史男（福島県立医大皮膚科）、林 松男、
小能恵二（岡山大病原細菌学）、小林和人（福島県立医大生体機能）

14 55

「種々の口腔レンサ球菌の熱ショック蛋白質 60 および 70 遺伝子の塩基配列の
決定とその解析」

横田憲治、林 松男、趙 瑩、阪口義彦、関 鋭、小能恵二（岡山大病原細菌学）、磯貝恵美
子（北海道医療大）、山崎 修、岩月啓氏（同皮膚粘膜結合織学）

座長 小熊 恵二

15 10

「ヘーシェット病末梢血における細胞傷害性T細胞の活性化レベルの検討」

安岡秀剛（慶応大内科）、桑名正隆（同先端医科学研究所）、西田朋美、水木信久（横浜市大眼科）

15 25

「ヘーシェット病患者リンパ球におけるケモカインレセプター発現の検討」

吉川英志、黒川真奈絵、鈴木 登（聖マリアンナ医科大学免疫学・病害動物学）

15 40

「ヘーシェット病における IL-12p40 および IRF-1 プロモーター領域の遺伝子多型解析」

柳堀浩克、井上智子、東條理子、中村晃一郎、金子史男（福島県立医大皮膚科）、西田朋美、水木信久（横浜市大眼科）

15 55

「細菌由来の CpG モチーフを有する DNA (CpG DNA) に対するヘーシェット病患者単核球の反応性」

小林浩子、大沼京子、佐藤由紀夫（福島県立医大第2内科）

16 10

「表皮ランゲルハンス細胞の IL-6、IL-12 産生能について」

中村晃一郎、柳堀浩克、西部明子、東條理子、金子史男（福島県立医大皮膚科）、朝比奈明彦、玉置邦彦（東京大皮膚科）

休憩 16 25

座長 猪子 英俊

16 40

「トルコ人のヘーシェット病患者におけるゲノムワイドな遺伝子マッピング」

竹本裕子、南場研一、大野重昭（北大視覚器病学）、水木信久（横浜市大眼科）、猪子英俊（東海大分子生命科学遺伝情報部門）

16 55

「ゲノムワイドなマイクロサテライトマッピングによるヘーシェット病の原因遺伝子の検索に関する研究」

伊藤良樹、滝山直昭、山根敬浩、尾本 周、佐々木 英、伊藤典彦、西田朋美、水木信久（横浜市大眼科）、竹本裕子、大野重昭（北大視覚器病学）、岡 晃、田宮 元、猪子英俊（東海大学分子生命科学遺伝情報部門）

17 10

「ヘーチェット病眼症の新しい治療」

川島秀俊（さいたま赤十字病院）

7月19日（土曜日）

座長 石ヶ坪 良明

9 00

「Alpha-melanocyte-stimulating hormone の LPS 誘発ぶどう膜炎モデルおよび誘導型シクロオキシゲナーゼの発現に対する作用」

白取謙治、大神一浩、イリアナイリエハ、吉田和彦、大野重昭（北大視覚器病学）、小山芳一（同分子生化学）

9 15

「TNBS (2, 4, 6-trinitrobenzene sulfonic acid) 腸炎のアログラフト炎症因子(AIF)-1 トランスジェニックマウス(Tgm)における軽症化」

岩瀬和也、諸橋大樹、Nyambayar Dashtsoodol、北明大州、綿野敬子、三島鉄也、中井之人、島田茂樹、西田竜太郎、藤井 聡、小野江和則（北大遺伝子病制御研究所免疫生物）

9 30

「ヘーチェット病における H0-1 の発現とその病態への関与」

桐野洋平、岩崎美佳、岳野光洋、石ヶ坪良明（横浜市大病態免疫制御内科学）

座長 大野 重昭

9 45

「ヘーチェット病はどのようなルートで日本にもたらされたか」

竹本裕子、南場研一、大野重昭（北大視覚器病学）、水木信久（横浜市大眼科）、猪子英俊（東海大分子生命科学遺伝情報部門）

10 00

「ヘーチェット病に対する顆粒球吸着療法」

北明大州、南場研一、村松昌裕、白取謙治、大神一浩、小竹 聡、大野重昭（北大視覚器病学）

10 15

「ヘーチェット病におけるシクロスポリン治療効果と遺伝的多型性」

太田正穂（信州大法医学）、勝山善彦（同薬剤部）、西田朋美、水木信久（横浜市大眼科）

10 30

「横浜市立大学眼科における三大ぶとう膜炎併発白内障の術後成績」

西田朋美、渡邊洋一郎、中村 聡、石原麻美、林 清文、水木信久（横浜市大眼科）、大野重昭（北大視覚器病学）、

10 45

「ベーチェット病全国疫学調査および予後・QOL 調査-中間報告-」

黒沢美智子、松葉 剛、稲葉 裕（順天堂大衛生学）、鈴鴨よしみ、高橋奈津子、福原俊一（京大理論疫学）、玉腰暁子（名大予防医学）、西部明子、金子史男（福島県立医大皮膚科）、川村 孝（京大保健管理センター）

11 00

「ヘーチェット病患者の口腔関連 QOL に関する研究」

内籬真理子（京大健康情報学）、鈴鴨よしみ、福原俊一（同医療疫学）

11 15

総合討論

11 25

閉会挨拶 金子 史男

14 00

ヘーチェット病友の会勉強会

VI 第2回班会議プログラム

厚生労働科学研究（難治性疾患克服研究事業）
ヘーチェット病に関する調査研究
平成15年度第2回研究会議

日時 平成16年1月16日（金）14 00～
1月17日（土）9 00～

場所 福島県立医科大学同窓会館
「光が丘会館」大会議室

1月16日（金曜日）

14 00

主任研究者挨拶

福島県立医科大学医学部皮膚科教授 金子 史男

厚生労働省健康局疾病対策課課長 御挨拶

座長 金子 史男

14 10

「パン酵母マンナンに対するヘーチェット病患者血清の反応性—疾患コントロールとの比較—」

磯貝恵美子（北海道医療大）、松尾幸毅（産業技術総合研究所）、磯貝 浩（札幌医大）、南場 研一、大神一浩、大野重昭（北大視覚器病学）、杉山敏郎（北大消化器病態内科学）、小能恵二（岡山大病原細菌学）、東條理子、金子史男（福島県立医大皮膚科）

14 25

「ヘーチェット病患者より分離されたレンサ球菌の同定」

磯貝恵美子（北海道医療大）、河村好章、三島徳子、伊藤葉子、大楠清文、江崎孝行（岐阜大微生物学）

14 40

「ヘーチェット病における抗菌蛋白質 granulysin の血清中濃度について」

森實 真、山崎 修、大野貴司、岩月啓氏（岡山大皮膚粘膜結合織学）、片山治子（岡山済生会総合病院皮膚科）、小川一行、永田欽也（ヒー エム エル）

14 55

「ヘーチェット病における連鎖球菌 HSP60 由来のペプチドに関する研究」

柳堀浩克、井上智子、東條理子、中村晃一郎、金子史男（福島県立医大皮膚科）、林 松男、小能恵二（岡山大病原細菌学）、小林和人（福島県立医大生体機能）

15 10

「ヘーシェット病患者における細菌 HSP60 に対する抗体価の測定と HSP60 リコンビナント蛋白質および合成ペプチドの単核球細胞に対する活性の検討」

横田憲治、林 松男、趙 瑩、阪口義彦、小能恵二（岡山大病原細菌学）、磯貝恵美子（北海道医療大）、山崎 修、岩月啓氏（岡山大皮膚粘膜結合織学）、大野重昭（北大視覚器病学）、金子史男（福島県立医大皮膚科）

座長 岩月 啓氏

15 25

「ヘーシェット病末梢血における細胞傷害性 T 細胞の活性化レベルの検討」

安岡秀剛（慶応大内科）、桑名正隆（同先端医科学研究所）、西田朋美、水木信久（横浜市大眼科）

15 40

「腸管ヘーシェット病の病態形成における免疫系の関与」

今村愉子、松田隆秀（聖マリアンナ医大内科）、吉川英志、黒川真奈絵、鈴木 登（同免疫学病害動物学）

15 55

「Behcet 病(BD)における血清 IP-10 の検索と表皮ケラチノサイト(KC)の STAT-1 転写調節因子の制御に関する研究」

中村晃一郎、王 宏偉、尾山徳孝、金子史男（福島県立医大皮膚科）

16 10

「ヘーシェット病における IL-12p40 および IRF-1 プロモーター領域の遺伝子解析」

柳堀浩克、井上智子、東條理子、尾山徳孝、中村晃一郎、金子史男（福島県立医大皮膚科）、西田朋美、水木信久（横浜市大眼科）

16 25

「ヘーシェット病症例における Toll like Receptor9 遺伝子変異の検索」

関根英治、坂本夏美、小林浩子、大沼京子、佐藤由紀夫（福島県立医大第2内科）

休憩 16 40

座長 猪子 英俊

16 50

「ゲノムワイドなマイクロサテライトマッピングによるヘーチェット病の原因遺伝子の検索に関する研究」

伊藤良樹、山根敬浩、佐々木 英、滝山直昭、尾本 周、伊藤典彦、西田朋美、水木信久（横浜市大眼科）、竹本裕子、南場研一、大野重昭（北大視覚器病学）、岡 晃、田宮 元、猪子英俊（東海大学分子生命科学遺伝情報部門）

17 05

「ヘーチェット病全国疫学調査および予後 QOL 調査-中間報告-」

黒沢美智子、稲葉 裕（順天堂大衛生学）、西部明子、川上佳夫、金子史男（福島県立医大皮膚科）、鈴鴨よしみ、高橋奈津子、福原俊一（京大理論疫学）、玉腰暁子（名大予防医学）、川村孝（京大保健管理センター）

17 20

「ヘーチェット病はどのようなルートで日本にもたらされたか」

竹本裕子、南場研一、大野重昭（北大視覚器病学）、水木信久（横浜市大眼科）、猪子英俊（東海大分子生命2）

17 35

「難治性ヘーチェット病に対する低用量ステロイド薬併用療法の長期成績」

蕪城俊克、吉田 淳、林 清文、伊澤穂保（東京大学）、秋山和英、沼賀二郎（東京都老人医療センター）、川島秀俊（さいたま赤十字病院）、藤野雄次郎（東京厚生年金病院）

1月17日（土曜日）

座長 石ヶ坪 良明

9 00

「ヘーチェット病患者の口腔関連 QOL に関する研究」

内藤真理子（京都大健康情報学）、鈴鴨よしみ、福原俊一（同医療疫学）

9 15

「ヘーチェット病における H0-1 の発現とその病態への関与」

桐野洋平、岳野光洋、石ヶ坪良明（横浜市大病態免疫制御内科学）

9 30

「腸管型ヘーチェット病の診療実態—診療ガイドライン作成に向けて—」

岳野光洋、三角 緑、石ヶ坪良明（横浜市大病態免疫制御内科学）、上野文昭（大船中央病院難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班）

9 45

「ヘーレット病等のぶどう膜炎に伴う続発緑内障の統計的解析」

藤村茂人、藤野雄次郎（東京厚生年金病院）、蕪城俊克、吉田 淳、林 清文、伊澤穂保（東京大）、秋山和英、沼賀二郎（東京都老人医療センター）、川島秀俊（さいたま赤十字病院）

座長 大野 重昭

10 00

「ヘーレット病におけるシクロスポリン治療効果と遺伝的多型性」

太田正穂（信州大法医学）、勝山善彦（同薬剤部）、西田朋美、水木信久（横浜市大眼科）

10 15

「NF- κ B 阻害薬による実験的自己免疫性網膜ぶどう膜炎の制御」

北明大州、岩瀬和也、小野江和則（北大遺伝子病制御研究所免疫生物）、南場研一、大野重昭（北大視覚器病学）

10 30

「難治性ぶどう膜炎に対するステロイド徐放薬の眼内投与についての検討」

南場研一、大野重昭（北大視覚器病学）

10 45

「実験的自己免疫性網膜ぶどう膜炎後に誘導される制御性T細胞の検討」

北市伸義、南場研一、大野重昭（北大視覚器病学）

座長 金子 史男

11 00

特別演題

「ヘーレット病の免疫寛容による治療法の試みについて」

水島 裕（聖マリアンナ大 名誉教授）

閉会挨拶 金子 史男

14 00

ヘーレット病友の会勉強会